

令和6年度 江戸川区立清新第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	人間尊重の精神を基調として個の伸長を目指すとともに、人とのかかわりをとおして豊かな人間性を培うことや、魅力ある教育活動をとおして確かな学力の定着を図る。		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が登校したいと思い、夢や目標がかなえられるような学校づくり。地域コミュニティの核となる学校づくり。</li> <li>個を伸長させ、確かな学力を身につけ、豊かな人間性が溢れる生徒。</li> <li>反省する謙虚さ、前向きな思考を持ち、専門性の向上、社会人としての常識を備え、魅力ある授業を構築できる教師。</li> </ul>
前年度までの本校の現状	成果	「考え、議論する道徳」課題とし、研修した結果、生徒の議論する場を工夫し、活発な話し合い活動を行えるようにすることができた。それが深い学びに結び付けることができた。今後も研鑽を積み、各教科にも応用させ、考え、議論し、深い学びになるような授業改善を志す。	課題	今後の日常生活で必要なことをしっかりと考え、行動させることにつなげていけるよう、創意工夫する必要があり、今後の課題とする。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・生徒が自ら学び、自ら発信する授業を展開し、「個別最適な学び」及び「協働的な学び」を実践することで学力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業（管理職が観察）を実施</li> <li>KGP（家庭学習プロジェクト）の実施</li> <li>ICT機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期に1度、指導案（略案）を提出し、研究授業を実施。管理職が観察・助言を行う。また、授業改善に関する講演会を1度開催する。</li> <li>毎日、継続して家庭学習を行わせる。個に適した取り組みを自ら考えさせ、実施する。優秀者へは学期に1度表彰を行う。</li> <li>毎日、授業やKGPでICT機器やタブレットを使用し、情報収集能力や活用能力を向上させ、学力向上を図る</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会を行い、その内容を受け、授業改善に取り組んでいる。</li> <li>家庭学習については、多くの生徒が定着してきている。夏季休業中の学習も含め、自らの能力や状況と照らし合わせ、計画的に行わせている。</li> <li>ICTに関しては、教員も研修等を行い、効果的な使用を生徒に提示している。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善には常に取り組んでほしい</li> <li>夏季休業の自分で考える宿題の取り組みは評価できる。生徒のアンケートからどんどん改善してほしい</li> </ul>					
	<放課後学習教室の充実> ・放課後学習教室（英語・数学）の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後学習教室担当の外部業者との連携を強化し、学力の分析や具体的な支援を検討、実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学期に1回連絡会を開催し、検討する。</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当による連絡会や分析を行い、効果的な支援を検討、実施している。適宜、メンバーの入れ替え等も行っている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後補習教室により、基礎基本の定着を図ってほしい</li> </ul>					
	<読書科の更なる充実> ・読書科を通じた読解力、言語能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の教科ごと活用</li> <li>学年ごとに行う「お気に入りの本のポップづくり」「おすすめの一冊」等の取り組み</li> <li>ビブリオバトル（本の紹介）の実施。紹介を通して言語能力や表現力の向上を図る</li> <li>書籍やインターネットを利用して、興味のある事柄を調べ、紙面またはICT機器でまとめ発表する。発表により、読解力や表現力などの向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科ごと年5回実施</li> <li>読書科においてポップやおすすめの一冊づくりや年3回実施</li> <li>各学年、1回ずつビブリオバトルを実施</li> <li>各学年、探究的な活動を行い、1度は発表会を開催。</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科での使用はこれから行う</li> <li>1回目のポップづくりは終了し、展示した。</li> <li>ビブリオバトルは3学期に予定。</li> <li>探究的な活動は、夏季休業中も含め、時間をかけて行い、発表は2学期を予定。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の探究的な活動はこれからもっと必要となってくるので、多くの取り組みを行ってほしい</li> </ul>					
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体育の授業における補強運動の充実 ・屋休みの外遊びの奨励 ・マラソン大会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備体操後の補助運動を種目や学年を考慮し実施</li> <li>外遊び用の用具等の充実</li> <li>12月に予定している「マラソン大会」に向けての継続的な体力向上の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回の授業における補強運動</li> <li>1学期には生徒からの要望を受け、用具等を充実させる。雨天時はサブアリーナ開放も検討</li> <li>マラソン大会に向けた練習の充実（2週間前から）</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在できることは行っている。昼休み、外遊びの人数は増加傾向。（炎天下は除く）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>酷暑すぎる夏だったので、十分に気を付けながら進めてほしい</li> </ul>					
実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・エンカレッジルームの活用促進 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンカレッジルームの柔軟な活用を、担当教員中心に考えていき、不登校生徒の教室復帰を図る</li> <li>現在あるユニバーサルデザインに基づく授業づくりや教室環境を見直し、全員が過ごしやすい、活躍できる教室環境や授業を確立させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期中には複数人の別室支援員を採用し、より充実した支援を行える環境をつくる</li> <li>毎週行われる特別支援委員会で見直しを行い、1学期中には改善を図る。</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>別室支援員を2名配置し、通常の支援以外にも緊急的な対応も行っている。</li> <li>ことある毎に、ユニバーサルデザインについては検討・見直しを進めている</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校生徒が少しでも居場所があれば、将来的にも変わってくると思う。多くの居場所をつくってほしい</li> </ul>					

不登校・いじめ対応の充実	<p>&lt;子どもたちの健全育成に向けた取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校独自の「不登校個票」を作成し、また、エンカレッジルームにおける別室指導支援員を活用し、不登校生徒への継続的な支援を実施</li> <li>・教育相談の強化</li> <li>・hyper-QUの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校個票をもとに、不登校生徒に必要な支援を、継続的に行うことができるような環境を整える。また、新規の不登校生徒を出さないように予防策を検討、実施する。</li> <li>・話やすい先生への相談週間の実施</li> <li>・hyper-QUを活用し、過ごしやすいクラスづくりの実現に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週行われる不登校対策委員会、対応を話し合い、学習や教育を提供する</li> <li>・年間5回の相談週間を実施</li> <li>・6月にhyper-QUを実施し、結果と現実を分析して、2学期初めから対策を実施</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこにもかかわりのない生徒に対し対応している。</li> <li>・相談週間1度開催。夏季休業明け2回目実施。</li> <li>・hyper-QUの分析を学年で行い、要支援を中心に、対策を検討。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の話をたくさん聞いてくれて嬉しく思っている</li> </ul>					
	<p>&lt;特別の教科 道徳の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別の教科 道徳の充実を図り、健全育成を推進する。</li> <li>・担任のみならず、副担任も指導に関わり多様な視点から道徳観を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度研究をした「考え、議論する道徳」をさらに追及し、より生徒が深い考えのもと議論できるように授業の工夫・改善を図る。また、各教科への応用も追及する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が輪番で授業を行い、教員同士で授業観察や助言を行い、授業改善を図る。</li> <li>・上記講演会を道徳にも関連させる</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職が中心となり、道徳授業の観察・助言を行う。</li> <li>・自ら考え、自ら発信する授業の講演を道徳にも生かすよう助言を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業を土曜公開でも開催してほしい</li> </ul>					
学校（園）の地域社会に開かれたの実現	<p>&lt;自校（園）の取組の積極的な発信&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校（園）ホームページの充実等</li> <li>・学校（園）公開の実施・充実</li> <li>・地域活動への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の様子や本校の取組をホームページ等で発信</li> <li>・土曜授業だけに限らず、すべての行事等も公開</li> <li>・地域のボランティア活動や祭礼への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職、各学年の担当による、毎日のホームページ更新</li> <li>・4回の土曜授業と行事をすべて公開。その他にも、総合等を地域と協働の活動にする</li> <li>・地域の活動があることに学校で紹介し、ボランティア等での参加を促進</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順調に発信や公開を行っている。ボランティアにも2つの行事で参加。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的なボランティア活動はとて評価できる。地域とのつながりを大切にしたい</li> </ul>					
	<p>&lt;学校関係者評価の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜公開授業時に学校評議員会を開催</li> <li>・行事等も積極的に足を運んでいただるように案内する</li> <li>・普段の様子をホームページ等で発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回評議員会を実施</li> <li>・行事毎に案内状を送付</li> <li>・管理職、各学年の担当による、毎日のホームページ更新</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の方に、様々なご意見や評価をいただき、充実した教育活動にするために生かしている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも学校と協力していきたい</li> </ul>					
教育の特色ある展開	<p>&lt;学校における働き方改革プラン&gt;</p> <p>「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日を設ける</li> <li>・業務、部活動の均等化を図る</li> <li>・業務短縮に係るICT機器の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回（定期考査2日目）+設けられる日を検討</li> <li>・主幹を中心とした業務の割り振り、見直し（年2回）</li> <li>・複合型の印刷機を導入し、業務改善を図る。</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に勤務体系や働き方改革に関しては念頭に置き、助言を行っている。</li> <li>・印刷機の導入は業務改善につながった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革は常に意識して、少しでも多く、生徒のための時間をつくってほしい</li> </ul>					
	<p>&lt;防災教育の充実&gt;</p> <p>避難所開設訓練や防災訓練の実施、防災教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学習において、中学生が行う避難所での活動や被災時の行動を学ぶ</li> <li>・防災訓練、避難所開設訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期までに、想定される災害に対する対応や避難所での活動を調べる。総合の時間を10時間程度使用</li> <li>・2月に消防や地域、小学生、保護者と共に総合防災訓練を実施</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、学年主任を中心に、防災学習について検討している。副校長自ら管外出張予定。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月の防災訓練について、多くの方にお知らせしておきます。参加者1000人目指す</li> </ul>					